

イントロダクトリートーク： 偏光計測制御の新展開

Introductory Talk: New Developments in Polarization Measurement and Control

○岡 和彦¹、大谷 幸利²、和田 篤³ (1. 北大、2. 宇都宮大、3. 防衛大)

°Kazuhiko Oka¹, Yukitoshi Otani², and Atsushi Wada³

(1. Hokkaido Univ., 2. Utsunomiya Univ., 3. National Defense Academy)

E-mail: oka@eng.hokudai.ac.jp

偏光の計測と制御は長い歴史を持つ研究分野であるが、近年これらに関わる研究が急速に増えている[1,2]。理由の一つは、最近の光制御デバイスの多くが偏光に密接に関連している点にある。また、偏光の計測制御技術の進展に伴い、偏光計測の応用分野も工業からバイオ医療や環境まで急速に拡大しつつある。このように拡大の一途を遂げる分野であるが、一方で我が国の学会で効率的な研究討論がなされているとは言いがたい一面があった。なぜなら偏光は応用分野があまりに多岐に渡るため、応用分野ごとに別々のセッションや学会で発表がなされ、「偏光」というキーワードのもとに統一して議論されることが少ないためである。この弊害として、同じような研究が応用分野ごとに別々に並行して行われる事例が散見されている。

このような背景のもとで我々は、偏光の計測と制御に関する国内外の様々な研究トピックを分野横断的に講演していただくことを目的として、本シンポジウムを企画した。本シンポジウムを契機として、普段はセッションや学会の垣根によって互いに交流することの少ない異分野同士の研究者が、「偏光」のキーワードのもとに分野横断的な議論を開始していただけることを期待している。

[1] R. Chipman, “Imaging Polarimetry in 2015,” 光学, **44** (2015) 177.

[2] 大谷幸利, “偏光イメージング技術の最近の動向,” 光学, **44** (2015) 178.